

**基本練習問題 5-1**

<解答>

問 1 79,000 円

問 2 257,000 円

**【解説】**

原価計算期間と実際の支払日にズレがあり未払や前払が生じる場合の処理について問う問題である。問 1 が未払のケースで問 2 が前払のケースである。

問 1

未払が生じるのは、経費の支払いが後払いによる場合である。外注加工賃は、締日までの 1 ヶ月間の外注加工の実績に応じて請求額が決まるため未払の代表的なケースといえる。未払の場合には貸金と同じ計算方法で当月の原価計算上の経費の支払額を確定させるので、次のような計算を行う。

$$\begin{aligned} & \text{当月支払額} + \text{当月未払額} - \text{前月未払額} = \text{当月の原価計算上の経費の支払額} \\ & 82,000 + 4,000 - 7,000 = 79,000 \text{ 円} \end{aligned}$$

問 2

倉庫の賃借料や保険料のように当月中に次月分を前払いする場合もある。この場合には、問 1 の未払いの場合と計算方法が異なるので注意が必要である。前払いの場合には、下記のような図を考えるとわかりやすい。5 月の原価計算上の経費の支払額（賃借料）である (D) は、当月支払分 (A) (250,000 円) に前月前払分 (B) (183,000 円) を足してから当月前払分 (C) (176,000 円) を引くことで計算できる。したがって、5 月の賃借料は次のように計算できる。

$$250,000 + 183,000 - 176,000 = 257,000 \text{ 円}$$

